

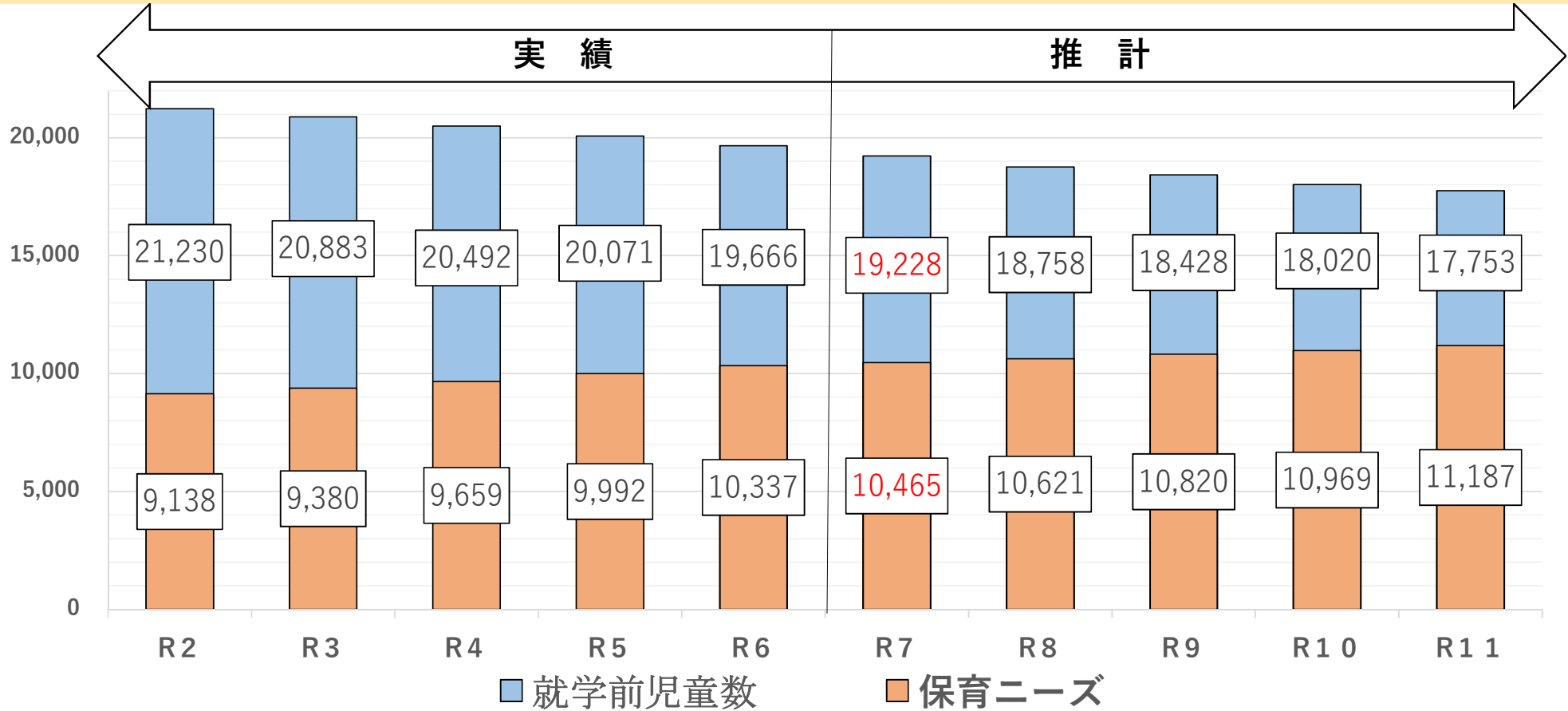
子ども・子育て支援事業計画 (PDCAサイクルに基づく点検・評価の報告)

- 1 教育・保育の量の見込みと確保方策の進捗報告
- 2 地域子ども・子育て支援事業の量の見込みと
確保方策の進捗状況

令和 7 年10月3日

1 教育・保育の量の見込みと確保方策の進捗状況

① 本市の就学前児童数と保育ニーズ
(令和2年～令和6年度実績と事業計画において定めた令和7年度から令和11年度の推計)



②計画と実績について
（令和7年4月1日時点、市全域、保育認定のみ）

（単位：人）

		令和7年4月1日時点	
		計画	実績
① 量の見込み		10,465	10,386
② 確保方策（合計）※		10,465	10,111
内 訳	認可施設の利用定員	9,624	9,637
	企業主導型の利用定員	178	161
	定員の弾力運用	212	※ △26
	幼稚園等の預かり保育	451	339
差引（②－①）		0	△275

（差引）

△79

△354

※ 定員の弾力化（実績）△26人 ＝ 入所児童数（認可施設）9,611人 - 認可施設の利用定員9,637人

（参考）就学前児童数	19,228	19,166
（参考）入所児童数（認可施設）		9,611

△62

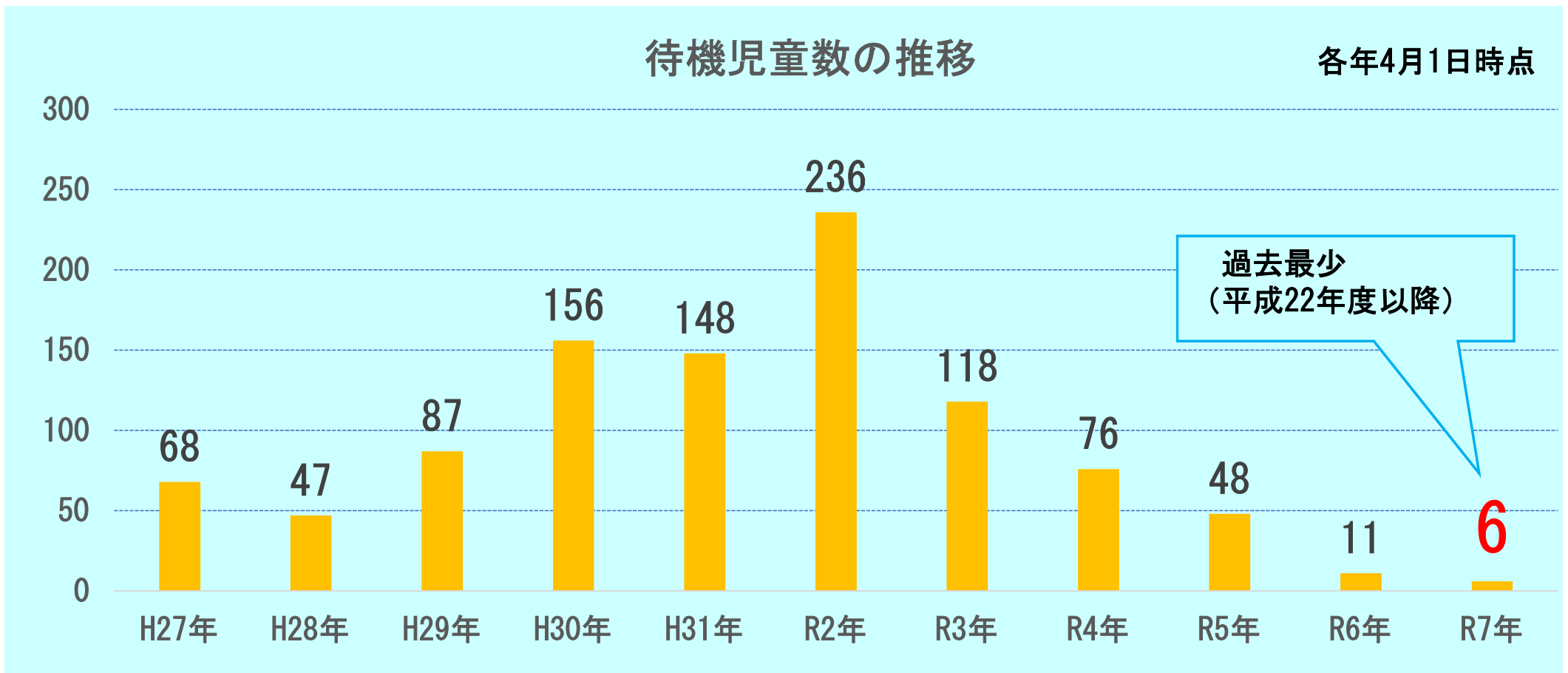
③実績の詳細について

（令和7年4月1日時点、待機児童数、未入所児童数など）

		人数	計算式
①	保育ニーズ（保育の量）	10,386	-
②	入所児童数（認可保育施設）	9,611	-
③	入所児童数（企業主導型）	36	-
④	幼稚園等の預かり保育	339	-
⑤	未入所児童数	400	① - (②+③+④)

未入所児童数		400	・・・前年比 △130人
内訳	特定の保育施設を希望している方	214	
	育休中で復職の確認ができない方	133	
	求職活動を休止している方	47	
	待機児童数	6	・・・前年比 △5人

④待機児童数の推移について
(平成27年度～令和7年度)



⑤今後の取組みについて
(令和7年度以降)

保育ニーズの頭打ちも見据え、認可保育所の新設を行うのではなく、既存施設に軸足を置いた待機児童対策を実施していく。

【具体的な取組み】

- 保育士の確保・定着化策の推進
- 特別に支援が必要な児童の受入れ促進の検討
- 丁寧な利用調整
(入所事務でのAIやkintoneの活用、空き情報の提供)

⑥参考 【保育士・確保定着化策等の実績と今後の取組み】

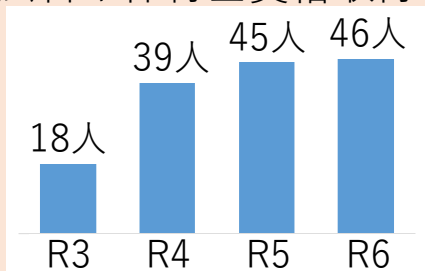
保育士・保育所支援センターの取組み

主な取組み（成果）

- ・就職に向けたマッチング支援
- ・保育士就職フェアの開催
- ・保育業務体験の実施（R6～）
- ・Web広告や保育士資格取得者へのDM発送等



192人



就職実績

R3：18人→R6：46人

更なる保育士確保に向けて（課題）

- 出張相談会等での潜在保育士の掘り起こし
- 求職者に対し、保育業務体験を勧めるなど、引き続き広報活動や就業への後押しとなる活動が必要

令和7年度の取組み

- 令和6年度と同様の就職実績を目指す。
- 保育業務体験や就職後のアフターフォローを実施し、離職防止を図る。

保育士確保及び定着化（補助制度）

主な取組み（成果）

保育士確保策	R5実績	R6実績
宿舍借り上げ支援事業	281人(79園)	305人(83園)
新卒保育士就労支援事業	98人(56園)	91人(48園)
潜在保育士就労支援事業	33人(21園)	29人(23園)
奨学金返済支援事業	103人(41園)	103人(40園)

R5と同程度

評価指標
達成

保育士の負担軽減策等	R5実績	R6実績	R6目標
保育体制強化事業	129人(60園)	150人(70園)	50園
保育補助者雇上強化事業	—	99人(60園)	58園

更なる保育士確保に向けて（課題）

- 特別な支援が必要な児童増 **R2：152人→R6：289人※**
- 物価高や人件費の高騰等により、現状の補助制度では保育士を加配することが厳しい。

※法人保育施設障害児保育事業

令和7年度の取組み

教育・保育施設における特別な支援が必要な児童の受入体制の充実を図るため、補助金の見直しを検討。